

町民と行政が主体性を持った 協働でぎるまちづくりを推進

平成十八年度の町政の進む方向を決める、第一回町議会定例会が二月二十一日から三月十日まで開かれ、十八年度一般会計予算などが原案どおり可決されました。初日には、沼崎喜一町長が「町民の皆さまと行政が役割と責任を分担しつつ協働し合い、お互いが主体性を持った、協働でぎるまちづくりを推進するため、全力を傾ける覚悟です」と、第8次山田町総合発展計画の六つの柱を基本に、施政方針を述べました。今号では、施政方針の主な内容と十八年度予算の中身を紹介します。

施政方針の内容



施政方針を述べる沼崎喜一町長

平成十八年第一回山田町議会定例会が開催されるに当たり、平成十八年度における町政運営の基本的な考え方に、主に主要な施策について申し述べ、町民並びに議員の皆さまのご理解とご指導をいただきたいと思います。

昨年は、山田町が昭和三十年に町村合併して五十周年の記念すべき節目の年となりました。

今年は、町民アンケートや新しい試みとして設置した「まちづくり委員会」、

地域の特性を生かした産業振興で元気創造をめざすまち 外来船誘致協議会活動を支援

地域に活気を生み出す農林水産業の振興については、既存産業の活用による地域の技術や農林水産物を生かし、生産から加工・販売までを進め、町内で製品化された商品のPRと地産地消に努めながら、消費地域の拡大につなげることが重要であると考えます。

総合発展計画審議会、議会全員協議会などを通じていろいろな提言をいただき策定した第8次山田町総合発展計画の初年度に当たり、「自主・自律・協働」のまちづくりを基本理念とした「みんなで創る ひとと産業が元気なまち 山田」の目標達成に向けて各事業の確実な第一歩を踏み出す年であります。

地方自治を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。今後、行政サービスを維持・向上させていく上でも、コスト削減や効率化を図る行政改革を持続的に進め、分かりやすい行政運営を目指してまいります。それには、町民の皆さまと行政が、役割と責任を分担しつつ協働し合い、お互いが主体性を持った、協働でぎるまちづくりが必要であり、それを推進するため、全力を傾ける覚悟であります。

以下、第8次山田町総合発展計画に掲げる領域に従い、平成十八年度の施策について述べてまいります。

水産業については、安全で安心できるおいしい水産物を供給することが、生食用殻付きカキの生産をはじめ、あらゆる産物の出荷増大に結び付きます。漁家の所得向上を目標に、ノロウイルスなどの衛生対策、カキ殻等貝殻廃棄物対策、グリーン・ツーリズムによる

消費者との交流対策、イベントなどを通じた販売対策に強力に取り組み、関係機関への積極的な働き掛けや消費拡大に向けたイベントなどを支援してまいります。

岩手県漁協系統は、平成十七年度末十一拠点漁協、十九年度末県一漁協に合併する努力をしております。本町においても、拠点漁協となる山田地区一漁協実現に向け引き続き支援してまいります。山田魚市場における水揚げを促進するため、新たに発足する外来船誘致に係る協議会の活動を支援してまいります。

の一部を町が処理するほか、織笠漁業協同組合が行う破砕機の整備を支援し、適正な処理およびリサイクルの推進に努めてまいります。

農業については、山田町堆肥センターが、昨年度有機肥料の出荷施設を整備し、指定管理者制度を導入した民間主導での本格稼働に向け、支援に取り組んでまいります。

畜産については、和牛・乳雄の肉用牛肥育経営の安定を図るため、価格安定事業を支援してまいります。

環境にやさしい快適な生活基盤の整備で元気創造をめざすまち 木造住宅耐震診断助成を実施

交通・情報網の整備は、岩手県沿岸部に生活する私たちの地理的・時間的ハンディを克服し、産業振興、生活環境の向上、さらには地域住民の生命を守るための必須要件でもあります。

三陸縦貫自動車道は、「宮古道路」が工事着工の運びとなりました。「釜石山田道路」は既に工事の一部に着手しており、北側、南側の整備が着々と進んでいます。今後も、引き続き事業促進について国および関係機関に対し強く要望してまいります。

県道については、一般県道宮古山田線の国道45号までの拡幅改良、主要地方道重茂半島線の急カーブ・急こう配改良、幅員拡幅などを県に要望してまいります。町道については、県代行事業での織笠・外山線が国道取り付け工

シイタケは、この地方に合った特用林産物であることから魅力ある林業を振興するため、地場産品を常に町内外に発信している道の駅などと連携を密にし、ながら生産拡大とブランド化に向け、岩手らしい生産施設整備事業を推進してまいります。

観光は、四季を通じたイベントの開催と合わせ、組織化された「マリン・ツーリズム山田」とタイアップして、恵まれた自然環境と地域資源を有効に活用した体験型観光を推進してまいります。

事を完成させ供用開始しました。引き続き、町道細浦柳沢線が県代行事業として整備促進が図られるよう県に要望してまいります。

豊間根地区の石峙・嶋田・中村橋三橋は、橋りょう点検調査を実施し、計画的に橋りょう補修事業を推進してま

健やかで、安心できる暮らしの実現で元気創造をめざすまち 地域包括支援センターを設置

全国的に、食生活や運動時間の減少など生活習慣の変化による疾病構造は、「がん」「心臓病」「脳血管疾患」などの生活習慣に起因する病気が増加傾向にあり、本町においても生活習慣病が六割を占めております。

この状況をとらえて、地域保健の充実については、生活習慣を改善して病気の発生を予防する「一次予防」に重点を置いた健康づくりを進めるため、地域ぐるみで「自分の健康は自分で守る」という意識啓発による「健康やま



町の発展には、地域に活気を生み出す農林水産業の振興が欠かせません（養殖ワカメの出荷作業）